

穴所在之蟲ハ、今日所在ト同物ナルベシ、今モ草居露宿セバ、蛇ノ類害レ人ベシ、上古ハ未有室屋、野ニ居リ、穴ニスム、蛇ノ類人ヲ害セシナルベシ、然ラバ恙トハ蛇ノ類ナルベシ、○下

〔萬葉集^六雜歌〕石上乙麻呂卿配土左國之時歌三首并短歌○中
草管見^{クサヅミ}身疾^{ミヤマヒ}不有^{アラセズ}急^{スミヤク}令變^{ケルヘシタマハネ}賜根^{モトツ}本之國^{クニベニ}部爾^ニ

〔冠辭考^三久〕草づ、み ○中略

こは流しやらるゝ處にて、わづらひあらせずして、はやく歸し給へてふ語に、旅の草むしろにありてふ蟲の名を冠らしめたり、○中 草管見は、説文に恙蟲名、入腹食人心、古人草居被此害、故相問無恙乎てふより出て、卷五にかへく行てよく都々美無久、佐伎久伊麻志氏、速歸坐勢とも、又集中に、つゝがなくとよめる所に、無恙と書たれば、卽是なり、○註

○按ズルニ、恙ノ事ハ、方技部疾病篇名稱條下ニ詳ナリ、宜シク參看スベシ、